

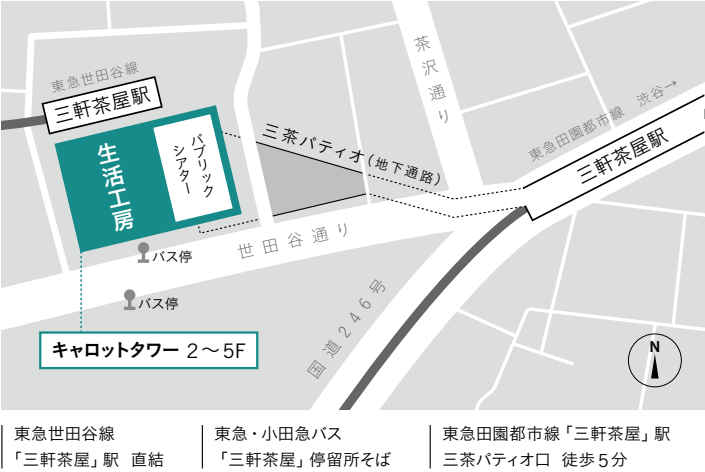
施設案内

5F	セミナールーム A・B 生活工房受付	音響・映像設備を備え、講習会や会議を行うことができます（定員48名）。A・Bの仕切りを外せば最大120名収容（机使用時は108名）。
4F	ワークショップルーム A・B	「A」はキッチンや調理器具などを備えた“ものづくり”スペース。「B」は可動パネルにより多様な展示に対応したスペース。
3F	生活工房ギャラリー 市民活動支援コーナー	生活や文化に関する様々なデザインを独自の視点で提案・発信する展示スペース。新たな発見が暮らしを彩ります。 世田谷で活動する市民活動団体のため、打合せや作業スペース、プリンタや印刷機などを備えています。
2F	ギャラリーカフェくりっく	カフェの壁面を使用した展示スペース。写真、イラスト、絵画、押し花など区民のアート作品を4週間ごとに展示します。

- トイレにはおむつ交換台があります。個室にチャイルドシートはありません。
- 5Fには授乳室、3Fの車いす対応トイレにはオストメイト用設備を備えています。

施設のご利用について 詳しくは生活工房ホームページをご覧ください。

アクセス



東急世田谷線
「三軒茶屋」駅 直結

東急・小田急バス
「三軒茶屋」停留所そば

東急田園都市線「三軒茶屋」駅
三茶パティオ口 徒歩5分

お問い合わせ

（公財）せたがや文化財団 世田谷文化生活情報センター 生活工房
〒154-0004 世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー
TEL 03-5432-1543 / FAX 03-5432-1559

website <http://www.setagaya-ldc.net/>
twitter [@setagaya_ldc](https://twitter.com/setagaya_ldc)

羊と日本人、
本当の豊かさについて

2015年の干支は羊。羊と言えば、その親しみやすいキャラクターと、温かいウール素材が冬の定番として、私たちの生活にもなじみ深いのではないのでしょうか。

西洋人にとっての羊は、単なる家畜というだけではなく、人間に最も身近な存在として、大昔から聖書をはじめ、様々な生活様式や文化芸術の場面に登場してきました。それに対して日本で羊の飼育がはじまったのは明治以降。日本は、羊の育成に適した気候をもつ地域が少ないために、欧米のような牧羊文化は根付きませんでした。しかし、日本独特の風土と技術のもと、独自の羊毛文化が育まれてきました。

本展は、羊をめぐる日本の作り手たちと仕事がテーマの企画展です。衣服造形家・眞田岳彦氏が北海道の牧羊、愛知の紡績、岩手のホームスパン（手織り物）、京都の手芸と、日本各地の羊毛に関わる仕事場を訪ねながら、その気候・風土とともに育まれてきた羊毛文化の魅力、そこに生きる作り手が伝承する技能や知識、仕事への誇りなど、インタビューを中心に映像や実際に使用する道具などを通じて紹介します。また、眞田氏も作り手として羊毛素材に向きあった作品を発表します。

EXHIBITION

※関連イベントの詳細は中面をご覧ください

眞田岳彦ディレクション

羊と手

衣服と作り手、その生き方

2015.1.10（土）→ **2.15**（日）
9:00～20:00 **入場無料** 会場：生活工房ギャラリー



食の“いま”を
再考する

“大人の知的好奇心を満たす”連続講座・知の航海。今年度は「食の再考」をテーマに実施します。

2013年末に、和食がユネスコ無形文化遺産に登録されました。欧米からアジア、アフリカまで世界各地に和食（日本食）の店が存在し、テレビで紹介されるそれらの店では、現地の人々が“創作”とも呼べる料理を披露します。和食が世界に広がる一方、私たちの食卓も多国籍な料理で彩られ、和洋折衷が一般化しているかもしれません。改めて「和食とは何か？」と問われたら、断片的なイメージ（食材や調理法）ばかりが思い浮かび答えに窮する方も多いのではないのでしょうか。では、質問を変えて、「カリフォルニア・ロールは和食？」。どうでしょうか。

一汁三菜に代わりファーストフードやインスタント食品など産業化された食を口にする機会も多いと思います。一方で、近年は身体や自然環境に配慮したオーガニックな食への関心も高まっています。情報も選択肢も豊富にあり、多様な価値観が交錯する現代において、日本人が食べ継いできた和食、そして都市における食とライフスタイルのあり方など、私たちを取り巻く食や食文化について個性豊かな講師陣とともに再考します。

SEMINAR

※申込など詳細は中面をご覧ください。

連続講座 知の航海

- 1.20**（火）

都市と食の文化論
菊地成孔（音楽家）×坂村健（東京大学大学院情報学環教授）
- 2.1**（日）

オーガニックな食と思想
清野由美（ジャーナリスト）×速水健朗（ライター／編集者）
- 2.8**（日）

「和食」とは何か？
原田信男（国士舘大学21世紀アジア学部教授）
- 2.14**（土）

狩猟から考える
佐々木俊尚（ジャーナリスト／作家）×山口未花子（岐阜大学助教）

2015
イベントガイド



世田谷文化生活情報センター
生活工房
Lifestyle Design Center

眞田岳彦ディレクション
羊と手 衣服と作り手、その生き方



2015.1.10(土) → 2.15(日)
9:00～20:00 入場無料 会場：生活工房ギャラリー

衣服造形家・眞田岳彦氏が、日本各地の羊毛に関わる仕事場を訪ね、その独特の風土と技術で育まれてきた日本の羊毛文化の魅力と、そこに生きる作り手たちの仕事と姿を紹介します。

羊をかぶるマーケット 1
2.14(土) | 15(日) 10:00～18:00 会場：ワークショップルームA・B
若手デザイナー約20名が中心になりウールの「かぶりもの」を制作展示。帽子、アクセサリー等の販売も。
申込：不要。直接会場へ

ワークショップ「ハマナカ手芸糸 羊と手の教室」 2
2.14(土) 14:00～16:30 会場：ワークショップルームA・B
手芸糸と道具を使って、大切な人への贈り物を作ります。親子でも参加できます。
講師・材料協力：ハマナカ株式会社 参加費：1,500円／20名(先着)
申込：電話かメールで

羊 毛糸だまニットカフェ 3
2.15(日) 12:00～16:30 会場：ワークショップルームA・B
編みながら会話できる場を作ります。ご自分の編み物を持参してどうぞ。
協力：青木久美子(日本ヴォーグ社「毛糸だま」編集長) 申込：不要。直接会場へ

トークイベント「羊毛・銀座・商い」の話 4
2.15(日) 14:30～16:00 会場：ワークショップルームA・B
羊毛を素材としたジャケットやコート等の衣服、文化について、実物を見ながらトーク。その魅力について探ります。
講師：渡辺新(壺番館洋服店 代表) 進行：眞田岳彦(衣服造形家)
参加費：500円／40名(先着) 申込：電話かメールにて

連続講座 知の航海

「大人の知的好奇心を満たす」連続講座・知の航海。今年度は“食の再考”をテーマに実施します。飽食の時代とも言える今日において、現代人が忘れていている食の記憶をたどり、食べることの原点から現代の多様なライフスタイルと食の関係性まで、様々な視点で私たちを取り巻く食や食文化を考えます。



写真＝菊池良助

都市と食の文化論 1
対談：菊地成孔(音楽家) × 坂村健(東京大学大学院情報学環教授)

1.20(火) 19:00～20:30
会場：ワークショップルームB
古今東西の食に舌鼓をうってきた2人が、三ツ星が軒を連ねる東京の食事情から日本料理の特異性まで、都市(地域)と食をめぐる文化についてお話し頂きます。
参加費：1,000円／50名(先着) 申込：メールか電話にて

オーガニックな食と思想 2
対談：清野由美(ジャーナリスト) × 速水健朗(ライター／編集者)

2.1(日) 14:00～15:30
会場：セミナールームA・B
身体にも環境にも健康的な暮らし方が近年注目を集めています。農業やオーガニックな食材への関心など、食をめぐる新たな価値観とライフスタイル。その背景にある社会意識について考えます。
参加費：1,000円／50名(先着) 申込：メールか電話にて

「和食」とは何か? 3
講師：原田信男(国士舘大学21世紀アジア学部教授)

2.8(日) 14:00～15:30
会場：セミナールームA・B
ユネスコ無形文化遺産に登録された和食。一方で多国籍な食を享受することの多い現代。和洋折衷が当たり前になる中で、日本人が培った食文化＝和食をその成り立ちからひも解きます。
参加費：1,000円／50名(先着) 申込：メールか電話にて

狩猟から考える 4
対談：佐々木俊尚(ジャーナリスト／作家) × 山口未花子(岐阜大学助教)

2.14(土) 14:00～15:30
会場：セミナールームA・B
いつでも不自由なく食料が手に入る都市生活において、狩猟はとても遠い存在かもしれません。生き物を狩り、食べるという人間の原初的な行為を通じて、飽食の時代における食について考えます。
参加費：1,000円／50名(先着) 申込：メールか電話にて

※その他の講座も予定。詳しくはホームページをご覧ください。

国際交流inせたがや2015

2.21(土) 13:00～16:00
会場：ワークショップルームA・B

在日外国人との文化交流会です。アトラクションやお茶・和服着付けなどを体験しながら互いの理解を深めます。各国大使館の展示ブースもあります。



共催：世田谷海外研修者の会 参加費：1,000円(飲み物・菓子込み)
申込：電話(03-3422-4406・田中)にて。締切2月9日

NPO・市民活動のための情報編集セミナー
質の高い情報発信のための実践的情報編集術(仮)

市民活動のためのマーケティング基礎とその活用について学びます。

レクチャー編「情報発信に必要な情報編集力とは」 1
2.17(火) 18:30～21:00 会場：セミナールームA・B

実践編「組織の情報編集 ～情報発信のための創文編集術」 2
2.24(火) 18:30～21:00 会場：セミナールームA・B

講師：設楽剛事務所(レクチャー編)、イシス編集学校(実践編) 企画進行：(株)世田谷社
対象：NPOのスタッフ・役員(中堅者向け) 参加費：各日1,000円(1団体から複数参加の場合、2人目から半額)／各60名(先着) 申込：電話かメールにて

※詳しくはホームページをご覧ください。

ブナ帯☆ワンダーランド展

2.27(金) → 3.16(月)
11:00～19:00 入場無料
会場：ワークショップルームA・B 生活工房ギャラリー

世界の落葉広葉樹林帯(ブナ帯)の暮らしと、そこに生きる人々の感性を、パテ屋・林のリ子さんと旅をするように巡ります。



※関連プログラムは1月下旬にホームページでお知らせします。

森・里・海の連環による豊かな海づくり
「レリーフジオラマ」上映会

入場無料
会場：キャロットタワー2F・八角堂

自然の営みと人の関わりを紹介する映像作品(約5分)を上映します。上映スケジュールや詳細はホームページをご覧ください。



時をときはなつ vol.2

3月は、芽吹き季節。そして新たな旅立ちの季節。さまざまないのちの時とかかわるワークショップと、違う世界の時を想う上映会を開催します。

時のフィールドワークショップ 1
3.21(土・祝) ※時間、内容未定

時のドキュメンタリー上映会 2
3.28(土) ※時間、内容未定

企画制作：セセントカ

※内容など詳細は1月下旬にホームページでお知らせします。

セミナー

朗読講座 豊かなことばの世界

ことばの持つ豊さ、力、輝きを「朗読」を通して体感します。NHK日本語センターアナウンサーが講師となり、声の出し方、読み方などを丁寧に指導します。
3月1日(日)に「朗読発表会」の開催も予定。詳しくはホームページまで。

1 水曜教室(午前・午後) シリーズ〈名作を読む〉

1.28(水) | 2.4(水) | 18(水) | 25(水)

午前各回10:30～12:30 午後各回13:30～15:30

講師：岩井正(NHK日本語センター)

朗読作品：小川未明著『赤いろうそくと人魚』

2 木曜教室 シリーズ〈はじめての朗読〉

1.29(木) | 2.5(木) | 19(木) | 26(木) 各回13:30～15:30

講師：秋山隆(NHK日本語センター) 幸田文著『おとうと』

3 金曜教室 シリーズ〈はじめての朗読〉

1.30(金) | 2.6(金) | 20(金) | 27(金) 各回13:30～15:30

講師：藤原尚武(NHK日本語センター) 朗読作品：芥川龍之介著『トロツコ』

会場：セミナールーム

受講料：一般20,500円、アーツカード18,500円／15名(先着)

問・申込：(一財)NHK放送研修センター

TEL. 03-3415-7121(受付時間9:00～18:00) HP <http://www.nhk-cti.jp/>

ギャラリーカフェくりっく

開催中 → 1.17(土) シルクスクリーン版画展

1.18(日) → 2.14(土) 「色の波動」KoKo & フラワーセラビー花音

2.15(日) → 3.14(土) 『都会の季節』

3.15(日) → 3.31(火) 花に魅せられてVII

ワークショップ/セミナーの申込方法

●電話 03-5432-1543

●往復ハガキ/メール [希望イベント名・希望日・住所・氏名・年齢(学生は学年も)・電話番号を明記の上、下記宛先まで]

ハガキ：154-0004 世田谷区太子堂4-1-1キャロットタワー 生活工房宛
メール：info@setagaya-ldc.net (件名に希望イベント名を明記)

WORKSHOP
SEMINAR